

基本目標

1 市民と行政が協働するまち

- ◎地域づくりの担い手の育成
- ◎新城地区、中原地区、大山地区学習等供用施設の建設・改修工事
- ◎世界のウチナーンチュ大会、世界のジノーンチュ歓迎の夕べの開催

2 健康で、安心して住み続けられるまち

- ◎子育て環境・支援の充実 ◎子どもの貧困対策
- ◎認知症対策・フレイル対策 ◎特定検診受診率向上対策
- ◎妊娠期から産後期までの切れ目のない支援

3 文化を育み、心豊かな人を育てるまち

- ◎確かな学力の定着・国際化に対応できる人材の育成
- ◎特別な支援や医療的ケアを必要とするこども達への支援
- ◎学校施設の整備・電子黒板の拡充整備などの環境整備

4 地域資源を活かした、活力あるまち

- ◎西海岸に広がるサンゴ礁を活かした観光PR
- ◎特産品の普及促進
- ◎ゆいマルシェを活用した農水産業の振興

5 安全・快適で、持続的発展が可能なまち

- ◎防災対策（備蓄食料の確保・地域防災リーダーの育成など）
- ◎救急・消防体制の維持強化
- ◎都市基盤の整備（土地区画整理、道路、上・下水道整備など）

6 平和をつなぎ、未来へ発展するまち

- ◎日米両政府及び沖縄県に対し、「普天間飛行場の一日も早い返還と速やかな運用停止」、「危険性除去」、「基地負担軽減」、「返還期日の確定」を強く求める。
- ◎キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地における沖縄健康医療拠点の形成、同地区を核とした市民の健康増進施策への取り組み



令和4年度の施政方針の一部を紹介しております。全文については市ホームページをご覧ください。▶

市政運営の報告

■ 市制施行60周年を迎えます

本年は、沖縄県が本土復帰50周年を迎える大きな節目となり、本市におきましても7月1日に市制施行60周年を迎えます。このような記念すべき年を迎えるにあたり、活力と活気に満ちた豊かで、安心して住み続けられる「宜野湾がいちばん!」と、すべての市民が感じることができるまちづくりを目指して取り組んでまいります。

■ 普天間小学校の校舎増改築事業

令和3年度より整備を行っております普天間小学校の校舎増改築事業については、令和4年度末の完成を目指しており、校舎の安全性の確保及び教育環境の改善を図ります。

■ 普天間飛行場の早期返還について

日米合同委員会による返還合意から四半世紀が経過しており、市民は絶えず基地被害に晒される中で、固定化は絶対あってはならないとの危機感を持ち、一日も早い閉鎖・返還の実現を求めています。

市長に就任して3年が経ち、令和4年度は任期の最終年度を迎えます。今もなお新型コロナウイルス感染症拡大により、市民の皆様並びに市内事業者におかれましては、多大な影響が続いている状況でございます。

本市においては、これまで市民の声に耳を傾けるとともに、市議会からのご提言を生かしつつ、飲食店をはじめ観光関連などの事業者支援、ぎのわん元気再生!クーポン&キャッシュレス推進事業の経済対策、自治会支援事業、保育所や小中学校における感染症対策、新型コロナ自宅療養者への支援など様々な取り組みを実施し、これらの施策と連動して、市内事業者へは一律6ヵ月の水道基本料金の免除を行い支援してまいりました。

今後とも、国や県と連携し、ワクチン接種率の向上を目指すとともに、その他状況に応じた取り組みを速やかに実施してまいります。引き続き、市民の皆様並びに市内事業者の皆様とともにこの難局を乗り越えていく所存でございます。

市政運営にあたりましては、『宜野湾がいちばん!』をモットーに、すべての市民が、さらに笑顔で幸せを感じられる施策を進め、市民生活の向上が図られるよう各事業に取り組んでまいります。



宜野湾市長
松川 正則